

開催!

白鳩会 全国幹部研鑽会 相愛会・栄える会 合同幹部研鑽会 青年会 全国大会

ご指導

生長の家総裁
谷口 雅宣 先生
生長の家白鳩会総裁
谷口 純子 先生

第7回 生長の家白鳩会 全国幹部研鑽会

- ◆開催日時 平成27年 4月27日(月)
- ◆テーマ 食卓から平和を！地域につながりを！
- ◆メイン会場 生長の家本部練成道場
- ◆受講会場 愛知県教化部
- ◆参加対象者 支部長以上の幹部（含む壮年対策部各担当）・女性の地方講師会長・女性の生教会教区会長・母親教室リーダー（支部長以上の役職を兼務していない70歳未満のリーダー）・女性の地方講師の内、活動者で白鳩会教区連合会長が参加を認めた講師・10対策部の55歳までの対策部員（他の役職の兼務なし）・55歳までの壮年の誌友会の開催者（他の役職の兼務なし）

第7回 生長の家相愛会・栄える会合同 全国幹部研鑽会

- ◆開催日時 平成27年 4月28日(火)
- ◆テーマ 「結び合う」生き方を進め、地域・社会に貢献しよう！
- ◆メイン会場 生長の家本部練成道場
- ◆受講会場 愛知県教化部
- ◆参加対象者
 - ・相愛会 副相愛会長以上の幹部、および壮年層の相愛会員と男性の地方講師（活動者）の内、相愛会教区連合会長が参加を認めた者
 - ・栄える会 支部長以上の幹部と相愛会員である副支部長、および相愛会員である壮年層の栄える会員の内、教区栄える会会頭が参加を認めた者
 - ・男性の地方講師会長、男性の生教会教区会長

第66回 生長の家青年会 全国大会

- ◆開催日時 平成27年 4月29日(水・祝)
- ◆テーマ 感じよう、生命のつながりを！仲間と実践しよう、自然と調和した生き方を！
- ◆メイン会場 生長の家本部練成道場
- ◆受講会場 大阪教化部
- ◆参加対象者 青年会員、12歳から25歳の未会員



4月号

発行所並編集

生長の家愛知県教化部
〒460-0011
名古屋市中区大須4-15-53

発行人 濱山 正幸
編集人 永谷 宗宏
代表電話 052-262-7761
FAX 052-262-7751

■各組織専用電話番号■

相愛会 052-262-7767
白鳩会 052-262-7762
青年会 052-262-7763
講師会 052-262-7764

■各道場電話番号■

一宮道場 0586-71-5668
三河道場 0564-22-0472
豊橋道場 0532-52-1901



教化部長

濱山 正幸

事は巡るが故に

影で大事な何かを忘れてしまったのではな
いか……。

村山幸徳氏著「正法眼蔵」の経営力」
(PHP研究所刊)と題する書籍がある。この
中で著者は次のように指摘している……、

勉強する子に共通しているのは、両親自
身に学びの姿勢があることだ。親の学習意
欲は子供にとつてとくに重要で、親が自分
と同じことをしている事実は、子供と親の
距離を縮め、子供の心に疎外感や孤独感を
植えつけにくい。つまり、子供が勉強しな
い原因のどこかに親の自堕落がひそんでい
るわけで、それを取り除いて、親に学びを
取り戻させることが本質的な解決策なのだ
が、親は自堕落に気がつかない。

(同書、三十八頁)

其処彼処春の巡りにいのち萌ゆ

例えば、近年、子供の言葉遣いや態度などが取
り沙汰されています。また就学児童の学力の低
下という事に到つては、問題視と言うレベル
では済まされない程です。原因があつての結果
ですから、必ず原因がある筈でその原因が何で
あるか、私見ですが現世代の中にそれがあると
思います。

先の大戦後、疲弊した国家復興の中核とした
政策は「経済発展」で、まずは食を満たし着る
ものを整え住む処を確保する。このための先人
達の労苦は筆舌に尽くし難いものがあった筈。

その結果、我が国の経済力は世界でも冠たる
ものとなり、各家庭には様々な家電製品が普及
さらに今日では携帯やスマホのハンランに至る
我が国である。通勤途上の電車の中に見る光景に、
大人はもとより高校生たちまでもが、見事な指
裁き(?)でスマートフォンに熱中している。

この現象に対する代償は、子供世代の「活字
離れ」が進み、学力の低下現象に至つてはいな
いか。私見ながら、スマホの使い方に卓越した
技量があるにしても、それがそのまま学力の向
上に繋がるとは思えない。我が国は経済発展の

耳の痛い指摘であるがその通りであると思ふ。
必要なこと、とりわけ正しいと思ふことを実行
するのにはためらいは不要。現実、強烈な「プ
ーラン現象」が次代を担う子供達を襲っている。
聖典『新版希望を叶える365章』には次のよう
に書かれています……、

誰でも親と云うものは自分の子を愛して
いる。自分の子に最善のものを遺して置い
てやりたいのが親の愛情の表現である。併
しながら子供にとって何が最善の贈り物で
あるかを知らない人が随分多いのである。
子供に遺してやるべき最善の遺産は「真
理」を知らしめてあげると云ふことである。
「真理」は何時、何処でも活用すれば、
富にも化るし、事業にもなるし、病気を治
す薬剤にもなるのである。

(同書、一八二頁)

青少年を立派に育てることは親世代共通の務
め。そのため親も子と共に正しいこと、本当の
ことを学び実践することが何より肝要と心得ま
す。本当のこと、即ち「真理」を学ぶ環境こそ大切
か。如何でしょうか。



大豆インクを使用しています。

春の本部褒賞

三月一日に生長の家総本山にて「生長の家春季記念日・総裁法燈継承記念式典」が執り行われました。式典の様子はインターネットを通して全世界に配信され、このおめでたい日を迎えることが出来た喜びを世界中の信徒と分かち合いました。また加藤さち系愛知教区白鳩会連合会長が国内信徒代表として祝辞を述べられました。式典の中で平成二十六年年度の春の本部褒賞者が表彰され愛知教区からは服部伸子氏（二重光輪賞）岡田周子氏（西日本光輪賞）高柳信正氏（布教功労賞）藤岡和子氏（布教功労賞）が受賞されました。ここに受賞者の喜びの声を掲載いたします。

受賞の言葉

〈二重光輪賞〉
服部 伸子

た家族のお陰で、この度の受賞となりましたこと心より感謝申し上げます。

〈西日本光輪賞〉
岡田 周子

この度、「生長の家春季記念日・生長の家総裁法燈継承記念式典」において、二重光輪賞を授与されることになりました。本当に、光栄に思います。ありがとうございます。四十五歳で入信依頼、これまで御指導いただきました教化部長先生初め、先輩の講師、職員の皆様方、信徒の皆様方、今まで色々支えてくださっ



岡田氏 服部氏 藤岡氏 高柳氏

受賞者の皆様

〈布教功労賞〉
高柳 信正

今回、はからずもこのよう

な栄誉ある賞を受けることになり、大変感謝しております。唯々自分の生活の為に教えるの目的等には及ばず参りました。どうやら儲かるかを求めて生長の家に入信した私が、今は伝える事の難しさ、もどかしさを感じながらも、諸先輩、多くの誌友の皆様を支えられ、少しは人のお役に



祝辞を述べられる加藤会長

〈布教功労賞〉
藤岡 和子

生長の家立教八十六年春季記念日・生長の家総裁法燈継承記念式典が新たに造化の三神が勧誘され、お祀りされた総本山に於いて三月一日に行われました。その尊い所にて布教功労賞を受賞させて頂き、身に余る光栄と感謝申し上げます。

生長の家立教八十六年春季記念日・生長の家総裁法燈継承記念式典が新たに造化の三神が勧誘され、お祀りされた総本山に於いて三月一日に行われました。その尊い所にて布教功労賞を受賞させて頂き、身に余る光栄と感謝申し上げます。

生長の家立教八十六年春季記念日・生長の家総裁法燈継承記念式典が新たに造化の三神が勧誘され、お祀りされた総本山に於いて三月一日に行われました。その尊い所にて布教功労賞を受賞させて頂き、身に余る光栄と感謝申し上げます。

毎月第二金土日は 教区練成会に参加しよう！

愛知県教化部、三河道場、豊橋道場の三会場で同時開催しております。お問い合わせは最寄りの道場へ！ また愛知県教化部のホームページから最新のプログラムがダウンロードできます。

愛知県教化部：052-262-7761
三河道場：0564-22-0472
豊橋道場：0532-52-1901

生長の家 愛知

検索

二月度教区練成会 参加者延数386名！ 先月比プラス24名！



大愛知練成会の様子

四月から誌友会テキストが変わります！谷口雅春先生著「神真理を告げ給う」(税込一、一八三円)となります。お持ちでない方はこの機会にお買い求めください。

聖使命会入会・昇格 1月分

十二月十六日～一月十五日

合掌ありがとうございます。

聖使命会に入会下さいましたことを心から感謝申し上げます。

墨書していただきました「誠魂録」は、龍宮住吉本宮の宝篋に奉安され、聖經読誦と神想観で、あなた様の魂の向上とご多幸が祈られております。

※(一)は取扱者名 金銭送金報告の締切日 毎月十日 引き落とし日 毎月十五日
《通信可の方のみ掲載しております》

白鳩会

前(佐藤甲)川原ま莉の半身、川原瑠璃の半身、みどり(青山宣子)恒石悠斗、等(折戸つや)阪本英二の赤ちゃん、神宮等(藤方さよこ)前川朋也、桃花園(松浦洋子)松浦湊神明(後藤道恵)中山三千夫、中山洋子、道場(安藤史子)大谷惟恵、アルモニア(広森晶子)ゆなカタファビオヨシカズ、しげ原(萩原恵子)

4月号 組織新会員

●新会員の皆様を歓迎いたします●

白鳩会

相愛会

横吹 川口 菊江
八田 千崎 晶美
六軒屋 林 寿美
おぎわら 岡田 早苗

高豊 小宮 功
栄 国沢 宜弘
長久手 大脇 進

新設聖使命会費取扱者

青年会 中川 中村亜衣

相愛会

長久手 坪井研造 山田広行
橋目(平岩隆夫)平岩さや香、高豊(豊田勉)小宮功

白鳩会

各総連の紹介

知多南総連

百合草かね子総連会長

合掌ありがとうございます
知多南総連は知多半島の中央より先端部に位置し、武豊町、美浜町、南知多町の三町からなっています。風光明媚な温暖な地です。新鮮な魚介類や野菜、果物が豊富にあります。特にみかんは、ハウス及び露地みかん共にブランド名をつけて出荷するほど盛んです。地元ではほとんどの物が整う素晴らしい住みやすい所です。私達の総連は三地区九支部

半田総連

榊原ひろみ総連会長

合掌ありがとうございます
半田総連は童話作家、新美南吉のふるさとで酢の里

美南吉のふるさとで酢の里として知られています。五年に一度、三十一台の山車(だし)が一同に集結する豪華なはんだ山車まつりも行われます。総連は三地区八支部で成り立っています。二支部の支部長さんは定年で新しい支部長さんに交代されました。又、前総連会長さんは常に愛深く、努めて頂きまして、本当に心より感謝しております。現在も何事も相談し、協力していただいております。地区連合後、誌友さんと一緒に前年度同様、聖使命祝福祈願を行い、その後写経をしています。練成会

さん楽しみに参加して下さい。又、うれしい報告を戴きました。壮年層の久保泰子さん・古田良江さんのお二人が新しく講師試験に合格されました。お二人共お仕事、介護と毎日日本中に忙しい中、頑張つて下さっています。増々活気に満ちた素晴らしい総連になると皆様と共に喜んでいきます。これからも知多南総連は会長の御指導のもと「神・自然・人間の大調和」の意義を正しく理解し、日時計主義を行って、九名の支部長さんと心一つにして、大調和の和やかな雰囲気の中、進んで行きたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。再拜



半田総連の皆様です

にはみんなに声かけ合つて、車で乗り合わせて一人でも多く参加出来るようにしています。これからも半田総連の皆さんと共に明るく、楽しく神様の御心のままに進んで参ります。再拜

東浦大府総連

浪寄卓美総連会長

合掌ありがとうございます
東浦大府総連は知多半島の付根にある知多郡東浦町と大府市からなる総連です。三地区九支部です。三支部

壮年の支部長さんです。三人とも仕事を休んでみえますが支部長を受けて下さっております。毎月の感謝奉納祭は支部毎に行っています。総連別祝福と写経は総連全体で公共の場所で行っています。夏の先祖供養祭と年の暮れの浄心行と読誦会が私が生長の家にふれさせていただいた昭和六十二年以前から大先輩方が続けてこられた行事です。当時は東浦町と大府市地区で分かれています。思ひます。地区連が行って参ります。再拜



知多南総連の皆様です

相愛会

岡崎北地区連の紹介

岡崎北地区連 福留 譲



合掌ありがとうございます
岡崎北地区連合会は、五相愛会会員十九名、地区連合会長は中根金良さんです。地理上では、東は豊田市

下山から西は安城市に隣接します。そのほぼ中央に甲山相愛会があります。伝統ある三河練成道場を囲む様に位置しています。誌友会場主催者の林芳孝さんは、三十年以上に渡り自宅を提

供下さっています。昨年十二月の誌友会には、二十有余年ぶりに参加された方があり、その方は二月二十二日の教区大会にもご参加頂き

ました。その方を紹介頂いた誌友さんにも、感謝感謝です。矢作相愛会は、前相愛会長の後を引継いで頂いたのが、久保田富義さんです。真理を学べる拠点を継続出来ている喜びで一杯です。岡崎北相愛会長は、副地区連合会長でもある兵藤公治さんです。誌友会は、十名前後の参加で熱気溢れる雰囲気です。講習会や教区大会など、いつも二両親も参加される熱心な。生長の家。家族です。下山相愛会には中根金良さんです。自然に恵まれた環境で更なるエコ生活を実践されています。詳細は「いのちの環」No.五十七を参照下さい。最後に、橋目相愛会長は伊奈一三さんです。誌友会は、伊奈宅と福留宅を交互開催としていきます。平成二十七年一月から、大愛知・三河・豊橋の三会場、神性開発練成会が開催されております。是非ともご参加下さい。お待ちしております。過日開催されました、相愛会の教区大会には、白鳩会・青年会ほか多くの方々にご支援頂き有り難うございました。二十八一月には、教区の講習会が開催されます。教区大会での課題を整理し、教区大会で推進させて頂いた方々をはじめ、新たな方へ声掛けしながら、まずは、誌友会及び練成会への参加促進をしてまいります。再拜

青年会

ノーマイト弁当を作り始めました

川端 進太郎



初日はおむすびをにぎりました。

合掌ありがとうございます
Facebook(実名)で現実の友達、知り合いとインターネット上でつながり交流するサービスで、「未来を変えるキッカケを手に入れるための二十日間習慣化プログラム」という企画に取り組み始めました。その名の通り未来を変えるために自分で行えることを習慣化しようという企画です。私は「自分の弁当を自分で作る」という習慣を身に付けることを決意し

ました。しかもノーマイト弁当を作ろうと思ひました。人間が無理なく自然な状態で物事が継続することが出来るまでの期間が約三週間と言われています。私はこの習慣を身に付けていくことは大きな取り組みだと思ひています。今、生長の家では地球環境問題に取り組んでいます。「食卓から平和を！」(生長の家国際本部が提供しているノーマイトについて説明している映像)で紹介されている

ように私たちが生きるために欠かせない「食」を見直す必要があると思ひます。私も一人の生長の家の信徒としてノーマイトの食事心がけています。ノーマイト弁当作りに取り組む最大のポイントはたくさんある食べ物の中で考えて選んで美味しい弁当を作る。普段は母親が作るご飯やコンビニなどで済ませてしま

再拜

名古屋生命学園

3月1日名古屋生命学園 修了式



この日、卒園される6年生2人をふくめ、23名の学園児が、ひとりひとり、讃嘆のコトバが入っている修了証書をいただきました。



卒園を迎える2人のお姉さんに、みんなで、色紙を作ってプレゼントしました。



卒園する2人からの、答辞

講師会

地方講師を拜命して

岡崎推進部

関塚 洋子

生長の家に縁を頂き、事あるごとに救われ、喜びと感謝の生活が出来る事にご恩返しをしなければの想いから、講師試験を受ける事を決意しました。講師試験の話をする「支部長まで十分だ！」と言う主人に内緒で勉強会に出席して、合格できたら内緒で出席しようと、軽い気持ちでおりました。いよいよ受験書類の提出に！ところが事もあるか試験日を間違え

ていて家族旅行と重なってしまいました。神様事をするのに、主人に内緒は間違っていた！中心婦一を教えられているのに何を勉強していたのか！と反省と共に講師試験を受ける資格がない！心を改め来年にしようと思いました。講師会事務局吉兼にその様に話させて頂く、「折角勉強したのだから取りあえず書類を出しなさい。」と言われ、その言葉で何か背中を押された感

和、自然と共に伸びる運動を人類光明化運動と共に展開し、世界へ発信しているってすごい事、自分もその一員としての喜びと使命を感じます。講師を拜命してから、三正行が続けられる様になり、神様の世界は善のみ！何があっても良くなるしかない！と確信でき、常に心を明るく方向に日時計主義になれている事が嬉しい事です。ドキドキの初出講から二年、皆様に温かく迎えて頂き、有難く感謝です。神いまして我を導き給う。神様に感謝、ご先祖様に感謝、主人に感謝し、明るく楽しく喜びと感謝で出講させて頂きます。ありがとうございます。

生教会

書き初め審査会に参加して

岡崎生命学園

神谷 秀美

合掌ありがとうございます
二月三日に教化部において、愛知県下、十生命学園の神の子さんの作品の審査会が開催されました。幼児から六年生まで学年毎に文字を指定されて書いた作品は、太道場に並べられると圧巻です。昨年までは木場先生に「生命の教育から見た書道作品の見方」をご指導頂きながらの講習会でしたが、今年は六年間勉強してきた指導者は今まで学習した力を発揮する好い機会だと捉え臨みました。賞を決めずに講評だけの年もあ

りました。生徒の励みになるからとの意見を採り上げ、今年度は金・銀・銅の賞を学年毎に決めました。どの指導者も一つ一つをくいている様に見ていましたが、この悩む時間こそが私達指導者の見方の学習なのだと感じました。比較では無く、その子その子の素晴らしさや昨年と比べ大きく成長していると感じる事が出来るのは、やはり園長先生が一番理解しているのではないかと、意見や、一同に教化部で展示するより各道場で展示するのはどうだろうか

との意見も飛び交い、今後の書き初め審査会でした。再拝

生長の家
ラジオ放送

幸福への出発

東海ラジオ 1,332KHz
(一部地域864KHz)

毎週日曜日
5:40~6:00

4/1~4/30の各日曜日
前田 智子 本部講師

テキスト

5日『生長の家ってどんな教え？』
12日『生長の家ってどんな教え？』
19日『太陽はいつも輝いている』
26日『次世代への決断』

ご先祖と偕に

神の子の自覚を深める宇治練成会

平成27年度 宇治練成会日程変更

新しく『自然に学ぶ練成会』が金・土・日で始まります。
◎5月29日(金)~31日(日)、6月19日(金)~21日(日)、
9月25日(金)~27日(日)

『伝道実践者養成練成会』は、
5月以降しばらく休会となります。

☆短期練成会………4月3日(金)~4月6日(月)
☆一般練成会………4月10日(金)~20日(月)
☆伝道練成会………4月20日(月)~22日(水)
☆新入社員練成会……4月22日(水)~25日(土)

(問い合わせ先) 生長の家宇治別格本山 TEL 0774-21-2151
詳細は HP [http://www.uji-sni.jp] をご覧下さい。

宇治別格本山

検索

地区推進部会

(講師の方は地元の地区推進部会に、ご参加ください。)

地区名	開催日	開始時間	場所
名 東	4/8	10:00	教化部西館
中・中川	4/8	13:30	教化部西館
海 部	4/9	10:00	津島市文化会館
西春日井	4/9	13:30	小正市民センター
緑・南	4/13	10:00	鳴海コミンセン
名 西	4/13	13:30	教化部西館
知多東	4/13	10:00	河和観光センター
熱田・港	4/14	10:00	ポートビル会館
名昭・千種	4/14	13:30	観音堂
名 北	4/16	10:00	安藤宅
西三河第二	4/17	10:00	A コープ桜町店
西三河第一	4/17	13:30	野村宅
一 宮	4/17	10:00	一宮道場
守 山	4/17	13:30	二城会館
瑞 天	4/18	10:00	教化部西館
岡 崎	4/21	10:00	三河道場
豊 田	4/21	13:30	豊田市福祉センター
東三河・豊橋	4/21	10:00	豊橋道場
春日井	4/21	13:30	グリーンパレス春日井
知多西	4/26	13:30	知多青少年会館
愛 知	4/30	10:00	日進市民会館
瀬 戸	5/2	10:00	瀬戸文化センター
尾 北	5/2	13:30	犬山フロイデ

栄える会 熱田神宮清掃

と き:4月23日(木) 10:30~

ところ:熱田神宮警護舎前集合

※清掃奉仕です。どなたでもご参加ください。

奉納御礼

(二万円以上)

愛知県教化部

匿名様寄付金

(五十万円)

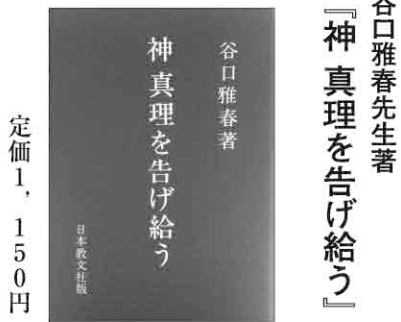
稲垣理恵様寄付金

(十万円)

平成27年 4月度 誌友会開催予定表

◆平成27年4月のテキスト◆

誌友会テキスト



定価1,150円

谷口雅春先生著
『神真理を告げ給う』

母親教室テキスト



定価2,210円

谷口雅春先生著
『新版
女性の幸福365章』



定価1,500円

谷口純子先生著
『小さな奇跡』

各誌友会共通テキスト 普及誌 3誌 4月号

白 鳩 会

総連名	単位組織名	会場リーダ名	出講講師名
緑	萩が丘	佐藤 ひろ子	池田 ゆきゑ
	萩が丘	佐藤 ひろ子	池田 ゆきゑ
	薬師山	富永 みどり	早川 孝子
	みどり	青山 宣子	與那覇喜久枝
大 高	平子が丘	大石 和美	野村 里美
	横 吹	佐野 好子	岩下 初子
	浦里中	山下 芳美	佐藤 ひろ子
	天 神	近藤 晴代	大石 和美
	太 子	宇佐美清子	近藤 幸子
	浦 里	立松 貴志子	松下 美知子
	青 山	栢植 秀子	中川 輝子
	はづき	鈴木 堪子	政平 京子
南	三 新	江藤 智子	中島 晴美
	道 徳	伊藤 由美子	岩崎 文子
	笠 寺	山口 美枝子	大橋 カヨ子
	明 南	谷 ひろ子	垣見 きみ子
	鳴 浜	蟹江 喜美子	渡邊 志摩子
	明 大	小坂井不二子	伊藤 洋子
港	善 進	小出 幸子	酒井 房子
	神宮寺	藤方 さよ子	中島 晴美
	春田野	相田 チハ子	翁長 多喜子
	多加良浦	鈴木 富子	高橋 民子
	当 知	澤井 良子	瀬尾 百合子
名 港	大 手	松永 眞見	尾関 多賀子
	遠 若	多知 貞子	服部 伸子
	十一屋	西川 登美子	岩下 初子
	築 地	森 信子	池田 ゆきゑ
	新 船	三枝 和子	藤方 さよ子
	川 間	花井 美恵子	安藤 桂子
	中之島	一柳 加代子	鈴木 妙子
	泰 明	川端 真由美	山際 靖子
中 川	富 田	安井 由子	植田 まゆみ
	戸 田	榎本 郁子	櫻井 治美
	伏 屋	政平 京子	石原 とし枝
	五女子	久野 由美子	渡辺 礼子
	柳 島	宮田 ますゑ	伊藤 恵子
熱 田	下之一色	井上 爽	山本 容子
	白 鳥	中野 さわ	川端 真由美
	旗 屋	岸田 珠美	松永 眞見
	熱田の森	酒井 房子	城田 タツ子
	河 田	山田 ちづる	花井 美恵子
中	五番町	翁長 多喜子	多知 貞子
	松原中	近藤 庸子	宮田 ますゑ
	九丁堀	杉浦 貴弥子	安井 由子
	日 置	近藤 皆子	森川 千鶴子
	橘	加藤 なみ江	山際 靖子
	万松寺	杉浦 百合子	富田 美紀
中村・西	烏 森	島田 千恵美	鈴木 妙子
	稲葉地	城田 タツ子	瀬尾 百合子
	菊 井	小野島眞知子	深谷 初枝
	名 塚	山際 靖子	杉浦 貴弥子
	那古野	渡辺 礼子	服部 伸子
	児 玉	平林 美知子	安江 信子
	中村公園	濱田 登喜子	松浦 真弓
高蔵寺	玉 野	門並 恵美	山田 運子

●誌友会Aタイプ 教義の学習に重点を置いた誌友会

テキスト:谷口雅春先生著『神 真理を告げ給う』 普及誌3誌 4月号

総連名	単位組織名	会場リーダ名	出講講師名
北	北区東	安藤 桂子	加藤 幸子
	楠	西川 智恵子	渡邊 志摩子
	上飯田西	浅野 郁子	高橋 民子
	黒 川	尾崎 桂子	垣見 きみ子
	北区西	黒川 登志子	岩崎 文子
守 山	大 幸	長谷川伸子	島田 千恵美
	守山中	長谷川智枝子	高田 美恵子
	守山北	安田 澄子	宮田 ますゑ
	寺 林	松浦 真弓	安井 由子
	吉田洞	近藤 幸子	三宅 三美子
	守山東	小泉 恵子	西川 順子
	霞ヶ丘	伊藤 治子	山田 ちづる
蓬 来	中 新	中島 晴美	藤方 さよ子
	平和ヶ丘	櫻井 治美	大西 洋美
	藤 森	山田 秀子	加藤 ゆかり
	引 山	望月 光枝	橋口 條子
	文教台	内藤 弘子	橋原 由美
	藤が丘	山本 龍代	宮川 百合子
	明 緑	森川 千鶴子	川瀬 富士子
	宮根台	石原 とし枝	二村 敦子
名 東	よもぎ台	筒井 佐智子	山本 容子
	梅森坂	野中 文恵	三村 弘子
	牧の池	川上 英子	櫻井 治美
	西山南	山本 容子	波多野 千津子
	貴 船	尾関 多賀子	坪井 よし子
	上 社	立松 令子	古家 シゲ
	貴船東	荻谷 昌子	平川 康子
	極 楽	加藤 ゆかり	茶谷 輝恵
	大 針	平井 久子	上西 友香
	西 山	大西 洋美	三宅 三美子
昭和・千種	桜 山	後藤 恵美子	松永 眞見
	曙	渡辺 志摩子	酒井 房子
	石 仏	富田 郁子	山田 ちづる
	楽 園	大脇 美容子	伊藤 洋子
	鶴舞東	都築 清子	翁長 多喜子
	春 岡	高柳 すま子	森 信子
	若 水	中村 恵子	安井 由子
瑞 穂	若 竹	大橋 輝子	中野 さわ
	中 根	前田 さち	井上 真理子
	汐 路	中野 真理	松下 美知子
	萩 山	清水 京子	藤岡 和子
	陽 明	青山 淑恵	與那覇喜久枝
	桃 園	山本 由子	山口 美喜江
	春 山	真保 光子	熊坂 和美
天 白	福 池	加藤 佳子	伊藤 和子
	相 川	井田 智子	佐々木智子
	梅が丘	田村 浩子	加藤 真理子
	平 針	元倉 信子	佐藤 甲
	池 場	森 皓代	真保 光子
	平針南	小幡 博子	山本 由子
	柊	池田 ゆきゑ	中村 孝子
緑	ほら貝	松田 嘉美	元倉 信子

総連名	単位組織名	会場リーダ名		出講講師名	
海部東	藤 丸	植田	まゆみ	夫馬	洋子
	富 吉	荒井	多寿子	上野	千枝
	蟹江本町	加藤	恭子	杉山	知胡
	伊 福	杉原	眞知子	浅野	喜久子
	遠 島	服部	明美	稲葉	敦子
海部北	美和東	鈴木	美恵子	渡邊	淑子
	小 塚	山田	慧子	廣江	洋子
	萱 津	加藤	真理子	田中	雅子
	今 宿	服部	富子	平田	梅子
	道 場	安藤	史子	川瀬	俊子
海部西	十四山	早川	紀子	倉館	キクエ
	佐屋西	石原	敬子	荒井	多寿子
	前ヶ須	伊藤	まり子	後藤	晴子
	富吉北	西川	貴美恵	宮本	誠子
	落 合	伊藤	千鶴香	来島	由美子
津 島	東 保	安江	信子	加藤	八千子
	学 戸	三輪	美佐子	大木	恵子
	東神守	井上	ムツエ	加藤	悦子
	江 東	後藤	晴子	今井	由子
	中 地	平野	利津子	伊藤	まり子
瀬 戸	鹿伏兎	安藤	登喜子	杉原	眞知子
	祖母懐	伊藤	恵子	大脇	真由美
	山 口	中嶋	まち子	松本	知枝
	宮 前	上西	友香	加藤	幸子
	末 広	加藤	きく子	渡邊	俊子
瀬戸西	萩 殿	茶谷	輝恵	相馬	悦子
	聖 嶺	三宅	三美子	水野	政子
	池 田	篠田	直美	坪井	美予子
	水 北	沢田	雅子	古家	シゲ
	新瀬戸	手塚	浩美	平川	康子
旭長久手	下品野	渡辺	俊子	伊藤	恵子
	北 丘	堀川	洋子	橋口	條子
	中品野	松本	知枝	宮川	百合子
	長 根	水野	政子	岩田	三也子
	瑞 鳳	田中	尚子	加藤	トモ子
日 進	城 前	橋口	條子	森松	正子
	森孝東	宮川	百合子	宝出	賀壽子
	森 孝	古家	シゲ	手塚	浩美
	岩 崎	中川	輝子	佐々木	智子
	岩 根	川村	信子	富田	悦子
豊明東郷	折野木	井上	真理子	相馬	悦子
	五色園	山崎	美津子	八木	陽子
	岩崎台	藤岡	和子	佐野	好子
	二村台	小川	多加子	山下	芳美
	鶴 根	青山	久代	宝出	賀壽子
知 多	二村台北	原田	よし子	佐野	好子
	栄 館	八木	陽子	川瀬	富士子
	豊明栄	御畑	節子	加藤	トモ子
	善 江	堀田	禮子	中村	孝子
	にしの台南	野村	里美	池田	ゆきゑ
常 滑	月 山	石川	喜久子	尾澤	悦子
	巽が丘	吉田	幸子	山口	陽子
	古 見	大橋	洋子	浜村	時代
	新舞子南	加藤	愛子	竹内	壽子
	旭桃台	瀬古	和子	山口	透志子
知多南	金 沢	梅野	佳代子	古田	良江
	東 海	小島	桂子	百花草	かね子
	富木島	福屋	久子	太田	房子
	姫 島	市川	恵子	肥田	京子
	つつじが丘	加古	邦子	久保	泰子
半 田	山 方	菅股	美和子	加藤	さちゑ
	奥 条	山口	陽子	百花草	かね子
	大 谷	岩田	和子	小松	妙子
	南 陵	福田	孝子	加古	邦子
	新 開	古川	和子	来島	由美子
知多南	多 屋	肥田	京子	高藤	とも子
	瀬 木	神野	須美子	皿井	敦子
	河 和	三浦	節子	太田	仁美
	野 間	山本	雪子	平松	洋子
	上前田東	百花草	かね子	渡邊	豊子
半 田	北屋敷	山口	透志子	杉浦	美千代
	須 佐	久保	泰子	竹内	昌枝
	豊 浜	鈴木	千恵子	副島	昌代
	内 海	滝本	信子	廣田	道子
	上 ゲ	細谷	厚子	石田	紀子
半 田	富 貴	三井	幸代	日高	一代
	新 居	森田	美根子	加藤	愛子
	半田東	北河	淳子	加古	邦子
	源内林	中島方	広瀬 登美子	天野	幸子
		石田	紀子	渡邊	豊子

総連名	単位組織名	会場リーダ名		出講講師名	
高蔵寺	岩成台	吉兼	園子	伊藤	清子
	高 座	月岡	寿子	吉水	妙子
	藤山台	穴戸	妙子	力丸	美智子
	成 南	小林	まさこ	長縄	純子
	石尾台	関村	朱美	細江	美智子
坂 下	松 本	松浦	順子	田中	幸子
	櫛ヶ丘	金光	美樹子	稲垣	紀代美
	神 出	奥村	郁子	堀田	愛子
	ネオポリス	渡辺	千鶴子	清 眞佐代	
	神 領	吉水	妙子	鈴木	千里
春日井	東野西	吉本	くみ子	新野	弘子
	松 原	安藤	久子	佐野	南代
	東野南	波多野	千津子	浦久保	咲子
	六軒屋	長縄	純子	佐々	周子
	南下原	力丸	美智子	木下	知枝
勝 川	上 条	石黒	弘子	篠田	誼子
	林 島	山田	好恵	坪内	千恵
	篠 木	稲垣	紀代美	梅本	明美
	鳥居松	梅本	明美	多和田	日出子
	月 見	影山	令子	林	佳子
小 牧	柏 原	清	眞佐代	友田	葉子
	春日井大手	坂口	正栄	門並	裕子
	牛 山	馬淵	久子	門並	恵美
	勝川南	佐々	周子	樋口	あけみ
	八 光	安達	美智子	永田	芳子
犬 山	古 雅	野村	敦子	長縄	純子
	桃ヶ丘	谷口	真理子	穴戸	妙子
	本 庄	浦久保	雅子	吉水	妙子
	田 県	糟谷	千代	坪井	春美
	桜 井	水野	ひさ子	細江	美智子
江 南	南山名	河名	喜代子	佐野	南代
	大 口	林	佳子	篠田	誼子
	高 雄	多和田	日出子	堀江	京子
	高雄東	北村	久子	浦久保	咲子
	柏 森	池戸	十三子	新野	弘子
一宮東	羽 黒	野々部	千代子	加藤	純子
	高雄中	竹内	末子	吉本	くみ子
	犬 南	澤田	正枝	佐々	周子
	楽 田	日比野	伸子	木下	知枝
	布 袋	水野	直美	多和田	日出子
一宮西	布袋東	村瀬	久枝	坪内	千恵
	中本町	武藤	房子	門並	恵美
	飛 高	植島	孝子	穴戸	妙子
	古知野	長谷川	久美	安藤	桂子
	和田栄	堀	佳子	吉兼	園子
真清田	みずほ	中村	明美	梅本	明美
	村久野	友田	葉子	力丸	美智子
	西 出	森田	俊子	奥村	郁子
	一 宮	伊藤	洋子	岩切	燐子
	浅 野	浅野	喜久子	蘭部	照子
稲 沢	公 陽	稲葉	敦子	川口	和代
	浅 井	鈴木	ヤス子宅	浅野	悦子
	西大海道	岩田	三也子	加藤	成美
	木曾川	杉山	知胡	野田	久代
	北 方	加藤	千鶴	南部	藤枝
西春日井	開明西	鈴木	貴子	畑	公子
	宮 後	渡邊	淑子	鹿取	美千子
	馬 寄	山中	直美	副島	洋子
	上本町	川瀬	俊子	杉原	眞知子
	北神明	伴野	恵美子	吉兼	登貴子
西春日井	戸 塚	藤原	美恵	鹿取	美千子
	梅ヶ枝	纈纈	しず子	倉館	キクエ
	森 上	田中	雅子	鈴木	美恵子
	山 崎	時田	ひろ子	加藤	恭子
	高 熊	浅野	悦子	高井	雅子
西春日井	稲沢東	岩切	あき子	安藤	史子
	大里東	川口	和代	加藤	真理子
	国府宮	岩井	真由美	立松	千恵
	北 島	蘭部	照子	今井	由子
	大 塚	大久保	勝子	伊藤	まり子
西春日井	光明田	水谷	鈴子	井上	ムツエ
	西 春	大口	良子	大木	恵子
	師 勝	加藤	琴子	纈纈	しず子
	六ッ師	楠井	照代	安藤	登喜子
	五 条	高井	雅子	岩田	三也子
西春日井	神 明	後藤	道恵	三輪	美佐子
	土 田	柴山	聖子	後藤	道恵
	桃 栄	加藤	八千子	早川	紀子
	神 明	松村	美代子	南部	藤枝
	西枇杷島	来島	由美子	加藤	悦子

総連名	単位組織名	会場リーダ名	出講講師名
松 平	金 谷	庄司 タカ子	太田 荀子
	平 井	兼子 明美	天野 幸子
	双 美	宮島 由江	百々 八重子
	五ヶ丘	園部 勝子	福谷 多年子
	宝 来	米原 久仁子	大萱 うい子
蒲郡北	蒲郡本町	杉浦 友子	鈴木 知子
	御 幸	梶山 三恵子	大萱 うい子
	中央本町	横山 治子	成嶋 セツ子
	新井前	鈴木 八重子	持城 美都子
	水 竹	柴田 敦子	柴田 順子
蒲郡南	本町北	安藤 敦子	梶山 三恵子
	三 谷	大場 政江	中尾 順子
	七 舗	鈴木 晴美	萩原 恵子
	椿	松下 昌代	神田 浩子
	西浦天神	杉山 加代子	伊藤 敏子
東三河	八 剣	竹内 和子	加藤 ひろ子
	弁 天	遠山 陽子	田中 京子
	稲 荷	松井 千恵子	神田 浩子
	東 上	西出 寿美子	大前 かつよ
	富 長	権田 和子	加藤 ひろ子
豊 川	山吉田	織田 勤子	成嶋 セツ子
	新城東	鈴木 千恵子	鈴木 知子
	上平井	小野田みどり	伊藤 敏子
	赤 坂	清水 豊美	高田 沙智子
	赤坂台滝	平松 弘子	小野田みどり
吉 田	山 道	根岸 昌子	柴田 順子
	本 宿	近藤 和枝	権田 和子
	長 沢	足達 和子	織田 勤子
	赤坂台東	村手 雅子	林 弘子
	神野新田	加藤 ひろ子	太田 荀子
向 山	羽根井	安田 和余子	松井 千恵子
	八 町	佐野 時代	権田 和子
	南松山	伊藤 敏子	織田 勤子
	横須賀	塩田 雅子	田中 京子
	下 地	安達 恵美子	岩崎 せつ子
豊橋東	菰 口	大林 美紀子	蓼原 三枝子
	柱	鈴木 たつよ	白井 泰子
	高師西	赤堀 カネ	大場 政江
	芦 原	澤 祥子	梅岡 良子
	新 吉	田中 京子	小野田みどり
豊橋南	石巻新	佐野 公美子	梶山 三恵子
	東 田	柴田 順子	杉浦 友子
	牛 川	川井 久仁子	柴田 敦子
	岩 田	山本 博子	大前 かつよ
	飯 村	木全 ちよ子	柴田 順子
渥 美	竜ヶ池	白井 泰子	中尾 順子
	西ノ原	遠山 高子	伊藤 敏子
	小 松	芝田 八千代	神田 浩子
	高 豊	豊田 好身	加藤 ひろ子
	中 原	鈴木 知子	安藤 悦子
岡崎矢作	大 脇	鈴木 泰子	松井 千恵子
	本 畑	森田 英子	梅岡 良子
	蔵 王	大前 かつよ	梶山 三恵子
	大久保	鳥居 祥子	梅岡 良子
	田 原	柘植 絹代	柴田 巖
松 平	大 草	寺田 京子	平松 弘子

● 誌友会Bタイプ 技能や芸術的感覚を生かした誌友会

テキスト:谷口雅春先生著『神 真理を告げ給う』 普及誌3誌 4月号

総連名	単位組織名	内 容	会場リーダ名	出講講師名
昭和・千種	新池南	ハー絵手紙	岩崎 文子	花井 美恵子
瑞 穂	前 田	ハー絵手紙	佐藤 甲	中川 輝子
天 白	八 事	ヌーエコ生活	與那覇喜久枝	栗木 倍代
港	甚兵衛	ヌーエコ生活	西川 順子	野田 裕子
中 川	八 田	ヌーエコ生活	内田 千里	野中 文恵
勝 川	勝川北	イー料理	古田 久子	中村 明美
小 牧	光ヶ丘	ワーフワアレンジメント	加藤 純子	吉兼 園子
一宮西	起	ハー絵手紙	庵 ノブ子	来島 由美子
	茶 原	ルーパソコン	田村 えり	内田 千里
真清田	萩 原	イー料理	平田 梅子	荒井 多寿子
瀬戸西	陶 原	ヌーエコ生活	加藤 幸子	大澤 文三子
	紺屋田	ハー絵手紙	森松 正子	坪井 よし子
豊明東郷	館	ワーフワアレンジメント	山口 美喜江	早川 孝子
刈谷・知立	野 田	ハー絵手紙	内藤 育代	矢吹 幸代
安 城	丈 山	ヌーエコ生活	矢吹 幸代	太田 荀子
岡崎矢作	滝	ロー写経	関塚 洋子	佐藤 民子
岡崎羽根	陣 場	ホー俳句	小玉 紀子	岩月 うめの
岡崎六ツ美	幸 田	ヲー生け花	杉浦 康代	田村 浩江
	庄司田	イー料理	仲市 貞子	加藤 定子

総連名	単位組織名	会場リーダ名	出講講師名
半 田	美 原	竹内 壽子	大橋 洋子
	乙川新町	岩崎 郁子	小松 妙子
	半田住吉	新美 友子	浪寄 卓美
	成 岩	皿井 敦子	肥田 京子
	半田本町	井上 知子	浜村 時代
東浦大府	半田東	広瀬 登美子	廣田 道子
	吉 田	浅田 加代子	平松 洋子
	大 府	尾澤 悦子	水谷 みゆき
	共 和	生野 美奈	井上 知子
	生路東	田中 敏子	副島 昌代
刈谷・知立	森岡東	渡辺 豊子	吉田 幸子
	石浜白山	太田 房子	山口 陽子
	石 浜	小松 妙子	竹内 壽子
	藤 江	浪寄 卓美	石田 紀子
	依佐美	加藤 定子	虎口 瞳
安城北	高須南	永井 敏子	阿部田美保子
	刈谷あい	岸本 浩子	大柴 ふみ子
	富士松	川崎 幸子	石田 智子
	亀城八幡	澤辺 恭子	原 慶子
	丸 山	野々山鎮子	内藤 育代
安 城	しげ原	萩原 恵子	岩月 うめの
	花 山	園部 好子	濱嶋 美幸
	高浜南	山本 喜見江	高須 陽子
	宇 頭	野村 那知子	花岡 紀美子
	矢 西	長坂 京子	関塚 洋子
西 尾	北 町	高須 陽子	園部 勝子
	みのわ	虎口 瞳	林 弘子
	今 村	山口 桂子	野本 美代子
	高 木	本田 栄子	内藤 育代
	大 岡	濱嶋 美幸	塚本 教子
岡崎中	赤 松	村松 久美子	田村 浩江
	小 川	稲垣 貴子	重松 雅子
	栗の木	田中 信江	山本 五代
	古 井	太田 君江	高田 沙智子
	桜本町	高井 良子	百々 八重子
岡崎矢作	美 園	大柴 ふみ子	加藤 多美子
	横 山	原 慶子	福谷 多年子
	福 釜	杉浦 美千代	佐藤 民子
	福 釜	岩月 里笑	中根 八千代
	上矢田	山本 春代	中根 八千代
岡崎羽根	幡 豆	水谷 恵美子	川崎 幸子
	戸ヶ崎	近藤 静代	庄司 タカ子
	鶴 舞	永田 好美	園部 勝子
	福 地	石原 あや子	兼子 明美
	室 場	長澤 和子	持城 美都子
岡崎六ツ美	新須磨	杉浦 ふみゑ	加藤 定子
	平 七	杉浦 美津子	塚本 教子
	神馬崎	石田 智子	鈴木 育子
	地藏野	藤井 チヨリ	長澤 和子
	竜 泉	杉浦 まさ子	石原 あや子
豊田南	桜 形	飯尾 千恵子	惣ト ゆみ子
	三 田	大島 信子	萩原 恵子
	中 町	尾崎 光代	長澤 和子
	仁 木	加藤 須磨子	高須 陽子
	細 川	成瀬 静子	矢吹 幸代
松 平	大 友	岡田 周子	園部 好子
	小 針	日下部美代子	迫 千代子
	中 園	林 弘子	伊藤 昭子
	橋 目	永田 秀代	山本 春代
	井 田	野本 美代子	庄司 タカ子
猿 投	常 盤	平賀 喜美代	高山 容子
	不 吹	小林 素子	持城 美都子
	まどか	本田 登美枝	大柴 ふみ子
	野 畑	山本 五代	惣ト ゆみ子
	定 国	近藤 なつ子	神谷 秀美
松 平	占 部	太田 荀子	石原 あや子
	江 口	田村 浩江	伊藤 昭子
	明 西	高田 沙智子	山本 春代
	新 屋	園原 節子	岡田 周子
	三好丘桜	藤井 静子	亀田 達子
岡崎六ツ美	水 源	細川 咲与美	石田 智子
	永 覚	久米 恵子	花岡 紀美子
	広 田	新富 美代子	日下部美代子
	細 谷	井口 慶子	大萱 うい子
	四 郷	福谷 多年子	高田 沙智子
岡崎六ツ美	浄 水	百々 八重子	加藤 須磨子
	日之出	浜口 美恵子	関塚 洋子
	豊 南	崎本 広美	加藤 多美子
	石 楠	佐藤 民子	杉浦 康代
	下 山	中根 八千代	重松 雅子

総連名	単位組織名	母親教室名	会場リーダー名	出講師師名
津 島	雅	エンジェル	鈴木 雅枝	川口 和代
瀬 戸	サン泉	たんぱぽ	大澤 文三子	田所 真智子
瀬戸西	北 山	いちごみるく	大脇 真由美	野中 文恵
	北品野	すずらん	山中 めぐみ	川上 英子
豊明東郷	稲 葉	杏 掛	古橋 宏枝	藤岡 和子
知 多	長 浦	長 浦	副島 昌代	渡邊 豊子
	新舞子南	新舞子南	瀬古 和子	水谷 みゆき
	つつじが丘	つつじが丘	高藤 とも子	小松 妙子
	巽が丘		永吉 直子	浪寄 卓美
常 滑	奥条東	奥条東ラッキー	富田 みか	尾澤 悦子
知多南	野 間		浜田 睦	太田 仁美
	豊 浜	やすらぎ	古田 良江	高藤 とも子
半 田	半田東	半田東	水谷 みゆき	百合草かね子
	半田本町	半 田	栗栖 直美	日高 一代
東浦大府		うのはな	神戸 幸枝	太田 房子
	生路東		山本 ひとみ	加古 邦子
	森岡東		渡辺 豊子	山口 透志子
刈谷・知立	藤 江	藤 江	浪寄 卓美	加藤 愛子
	依佐美	依佐美	加藤 定子	杉浦 康代
安 城	美 園	美 園	大柴 ふみ子	山本 雪子
	おぎわら	おぎわら	稲垣 千鶴	宮本 誠子
西 尾	平 坂	平 坂	神谷 秀美	高山 容子
	山 下	尾 城	杉浦 邦子	蘭部 好子
岡崎矢作	常 盤	常 磐	中村 恵子	山口 桂子
岡崎羽根	相 見	相 見	黒柳 恵子	亀田 達子
猿 投	天 道	天 道	澤田 恵	日下部美代子
	日之出	のびやか	林 美紀	岡田 周子
松 平	下 山	大沼あじさい	大河原裕香	加藤 須磨子
	双 美	はなみずき	柴田 広美	太田 荀子
	宝 来	亀首藤花	加藤 陽子	加藤 多美子
東三河	稲 荷	さくらぎ	伊藤 覚子	杉浦 友子
	新城日吉	日 吉	梅岡 良子	相山 三恵子
豊 川	赤坂台滝	フリージア	平松 弘子	大場 政江
吉 田	菰口東	吉田方	中尾 順子	遠山 陽子
	柱	柱	須田 明子	岩崎 せつ子
向 山	伝 馬	ハッピー	伊藤 ひろみ	松井 千恵子
豊橋東	東	東	杉浦 優子	加藤 ひろ子
豊橋南	小 松	羽根井ひなた	清瀧 早余	柴田 敦子

※支部順については、現況とそぐわない場合がありますがご了承下さい。

総連名	単位組織名	内 容	会場リーダー名	出講師師名
松 平	下 山	ロー写経	別府 瑛子	野本 美代子
蒲郡南	鹿 島	ヌーエコ生活	石川 敏江	安藤 悦子
豊 川	国 府	ヲー生け花	岩崎 せつ子	兼子 明美
	蔵 子	へー短歌	赤垣 恵美子	神田 浩子

●母親教室

テキスト:谷口純子先生著「小さな奇跡」

谷口雅春先生著「新版 女性の幸福365章」 普及誌3誌 4月号

総連名	単位組織名	母親教室名	会場リーダー名	出講師師名
北	北区東	北区東	安藤 桂子	伊藤 洋子
	彩 紅	彩 紅	大津 美恵子	山田 弘子
守 山	小幡ヶ原		尾関 由記子	安藤 桂子
蓬 来	宮根台	宮根台	石原 とし枝	尾関 多賀子
名 東	梅森坂	梅森坂	野中 文恵	山田 秀子
	貴船東	貴船東	田所 真智子	石原 とし枝
	極 楽	極楽東	加藤 ゆかり	森川 千鶴子
昭和千種	紅 梅	ひまわり滝川	山本 和世	渡辺 礼子
瑞 穂	前 田	北 原	西尾 智子	澤井 良子
天 白	福 池	福 池	早川 孝子	佐藤 ひろ子
大 高	大 砦	大 砦	深谷 初枝	熊坂 和美
熱 田	河 田	河 田	山田 ちづる	杉浦 貴弥子
	中	伊勢山	富田 美紀	内田 千里
中村・西	那古野	浅 間	渡辺 礼子	山際 靖子
高蔵寺	玉 野	すみれ玉野	山名 幸栄	奥村 郁子
勝 川	東仲田	千 咲	坪井 春美	加藤 純子
小 牧	春日寺	春日寺	伊藤 みつ子	吉本 くみ子
犬 山	柏 森	柏森	吉田 恭枝	村瀬 久枝
	高雄中	ハイビスカス	田中 則子	前田 香代
江 南	西 出	西 出	樋口 あけみ	坪井 春美
一宮東	春 明	春 明	野尻 ひとみ	柴田 恵津子
一宮西	宮 後	宮 後	園部 米子	平田 梅子
	小 信		柴田 恵津子	杉山 知胡
真清田	萩 原		平田 梅子	岩田 三也子
稲 沢	国府宮東	国府宮東	河合 玲子	稲葉 敦子
海部東	須 成	ひまわり	中垣 順子	伊藤 洋子
	沖之島	さつき	清野 千晴	渡邊 淑子
海部北	篠 田	篠 田	今井 由子	柴田 恵津子
海部西	前ヶ須	前ヶ須	伊藤 まり子	浅野 悦子

相 愛 会

テキスト:

谷口雅春先生著「神 真理を告げ給う」 普及誌3誌 4月号

●誌友会Aタイプ 教義の学習に重点を置いた誌友会

総連名	地区名	単位組織名	会 場 名	会場リーダー名	出講師師名
尾 張	海 部	弥 富	杉浦 成亜宅	伊藤 良一方	伊藤 良一
	尾 北	大 口	岡田 春光宅	岡田 春光	林 吉春
豊 田	豊田南	北外山	伊藤 英雄宅	伊藤 英雄	園部 戦二
		豊田南	松尾 昌弘宅	松尾 昌弘	山田 義弘
		上 郷	野村 幸司宅	野村 幸司	庄司 安孝
		花 園	猪股 隆秀宅	猪股 隆秀	福留 譲
	双 美	園部 戦二宅		園部 戦二	神谷 三郎
		青島 弘光宅			
岡 崎	豊田北	ルースドアモール	豊田福祉会館 松倉アドリアノ方	松倉 アドリアノ	本部派遣
	岡崎南	小 坂	神谷 三郎宅	神谷 三郎	中根 金良
		三河道場			Antonio Alfredo de Andrade Chronneck
	岡崎北	六ツ美・若松	太田 靖郎宅	太田 靖郎	伊奈 一三
		橋 目	伊奈 一三宅	伊奈 一三	平井 豊
		岡崎北	兵藤 仁一宅	兵藤 仁一	中根 金良
豊 橋	豊橋東	甲 山	林 芳孝宅	林 芳孝	永井 収夫
		下 山	中根 金良宅	中根 金良	田村 等
		矢 作	久保田 富義	久保田富義	山田 義弘
		豊橋東部	柴田 巖宅	柴田 巖	坂口 幹生
	豊橋西	牛 川	川井 勉宅	川井 勉	遠山 清八
		二 川	河合 晃宅	河井 芳典	川井 勉
三 河	西三河	栄	遠山 清八宅	遠山 清八	豊田 勉
		下 地	豊橋道場 平野方	平野 師雄	豊田 勉
		高 豊	豊田 勉宅	豊田 勉	平野 師雄
		大清水	河合 宏悦宅	河合 宏悦	横地 武男
	南三河	豊 川	平野 隆宅	平野 隆	中村 熊三
		新 城	織田 文夫宅	織田 文夫	遠山 清八
尾 張	一宮東	横 山	門 広司宅	門 広司	朝倉 章文
		安城北	野村 語宅	野村 語	門 広司
		碧 南	内藤 シゲシ宅	内藤 シゲシ	園部 戦二
		富士松	小林 孝寛宅	小林 孝寛	朝倉 章文
	一宮西	富土松	神谷 金吾宅	神谷 金吾	惣ト 功一
		西尾西	赤堀 洋一宅	赤堀 洋一	惣ト 功一
尾 張	海 部	幡豆一色	横地 武男宅	横地 武男	豊田 勉
		吉 良	加藤 豊宅	加藤 豊	伊奈 一三

総連名	地区名	単位組織名	会 場 名	会場リーダー名	出講師師名
名古屋第一	名 中	中 区	馬場 哲二宅	村上 金五	千崎 茂
		船 方	教化部会館 高柳 信正	高柳 信正	村上 金五
		中 川	宮下宅	二村 良樹	二村 良樹
	名 南	南区東	浅井 泰生宅	浅井 泰生	桑原 士郎
		鳴 子	鳴海コミュニティ 小野 武彦	野地 州郎	御畑 善彦
		善 進	平野 文凡宅	平野 文凡	高柳 信正
名古屋第二	名 東	善 南	布目 米市宅	布目 米市	鈴木 秀治
		よもぎ台	猪子石コミセン 市村 照夫	市村 照夫	伊藤 光幸
		北区東	安藤 暢康宅	堀 絢詞	二村 良樹
	名 北	守山中	市場 澤田 信實宅	堀 絢詞	脇田 勝広
		昭 和	中村 鍵次宅	澤田 信實	馬場 哲二
		名南東	中村 鍵次宅	中村 鍵次	澤田 信實
知 多	知 多	新舞子	久保田 太宅	久保田 太	松岡 要次
		大 府	大府市勤労文化会館 加藤 勝宏	加藤 勝宏	内田 寛史
		武 豊	玉貫公民館 田端 忠之方	浅井 亮次	沢田 寿一
	知多南	内 海	加藤 廣志宅	加藤 廣志	沢田 寿一
		豊 明	野田 茂行宅	野田 茂行	市村 照夫
		日進赤池	早川 敏夫宅	櫛田 信太郎	牧 豊
愛 知	日 進	日進折戸	吉田 正憲宅	吉田 正憲	沢田 幸志
		日進岩崎	川村 勝太郎宅	川村 勝太郎	内藤 壽
		春日井	春日井南	稲垣 徹安宅	稲垣 徹安
	瀬戸春日井	水 野	沢田 幸志宅	沢田 幸志	松村 潔
		瀬戸・長根	相馬 保之宅	堀 清和	杉山 寛泰
		長久手	坪井 研治宅	坪井 研治	坪井 研治
一 宮	一宮東	三 郷	金谷 康正宅	金谷 康正	坪井 俊治
		一 宮	一宮道場 伊藤 俊彦	伊藤 俊彦	坪井 俊治
		千 秋	河原 良一宅	河原 良一	赤山 壽一
	一宮西	西 成	中村 修宅	岩田 文一	平田 梅子
		今伊勢東	野々垣 俊治宅	野々垣俊治	五藤 孝司
		木曾川	五藤 孝司宅	五藤 孝司	山本 慶介
尾 張	稲 沢	黒 田	杉山 寛泰宅	杉山 寛泰	中村 修
		海 部	箕浦 善夫宅	箕浦 善夫	坪内 浩夫
尾 張	美 和	稲沢北	鈴木 秀治宅	鈴木 秀治	刈谷 一宏
		美 和	鈴木 秀治宅	鈴木 秀治	安藤 暢康

● 壮年の誌友会					
総連名	地区名	単位組織名	会 場 名	会場リーダ名	出講講師名
三 河	西三河	横 山	門 広司宅	門 広司	岩月 慎也

青 年 会

テキスト:
谷口雅春先生著「神 真理を告げ給う」 普及誌3誌 4月号

● 青年会ヤングミセスの集い

総連名	地区名	単位組織名	会 場 名	会場リーダ名	出講講師名
三 河	三 西	西 尾	大竹 喜久子宅	大竹 喜久子	川崎 幸子
			清水 千恵美宅	清水 千恵美	大竹 喜久子
		安 城	高橋 恵子宅	高橋 恵子	高山 容子

● 誌友会Aタイプ 教義の学習に重点を置いた誌友会

総連名	地区名	単位組織名	会 場 名	会場リーダ名	出講講師名
尾 北 教 区 三 河	稲沢・一宮 教 区 日 三	大 口	金沢 健二宅 伊藤 幹也方	伊藤 幹也	内田 雅史
		教 区	教化部会館 金沢 健二方	金沢 健二	亀田 敬祐
		日 進	小川 良平宅	小川 良平	久保田 旭

● 中学生・高校生合同誌友会

総連名	地区名	単位組織名	会 場 名	会場リーダ名	出講講師名
尾 東 名中・尾西	尾 東 名中・尾西	名東長久手	市村宅 太田 光香方	太田 光香	平野 明日香
		中 川	内田 雅史宅 川端 進太郎方	川端 進太郎	亀田 敬祐

● 青年会花のつどい

総連名	地区名	単位組織名	会 場 名	会場リーダ名	出講講師名
教 区 三 河	教 区 日 三	教 区	教化部会館 太田 裕万万方	太田 裕万	岡村 厚史
		豊田東	産業文化センター 山口 真貴子方	山口 真貴子	太田 光香

● 誌友会Bタイプ 技能や芸術的感覚を生かした誌友会

総連名	地区名	単位組織名	会 場 名	会場リーダ名	出講講師名
名中・尾西	名中・尾西	中 川	内田 雅史宅	内田 雅史	金沢 健二

練 成 会 等 案 内			
	神性開発大愛知練成会	神性開発三河練成会	神性開発豊橋練成会
日 程	4月10日(金)～4月12日(日) 練成会は全て同じ日程です		
会 場	愛知県教化部 TEL 052-262-7761 ●地下鉄名城線鶴舞線上前津下車、 2番出口より徒歩3分。	三 河 道 場 TEL 0564-22-0472 ●名鉄東岡崎駅下車、名鉄バス2番のりば乗車、 (徳王神社前)下車徒歩5分。	豊 橋 道 場 TEL 0532-52-1901 ●豊橋駅下車、豊橋駅より お電話下さい。
テキスト	①『生長の家ってどんな教え?』 ②『いのちを引きだす練成会』 ③『幸福生活への招待 20 章』 ④『新版 人間苦の解放宣言』 ⑤『新版 詳説 神想観』 ⑥『日時計主義とは何か?』 ⑦『今こそ自然から学ぼう』 ⑧『宗教はなぜ都会を離れるか?』 ―世界平和実現のために― ⑨『新版 人生を支配する先祖供養』 ⑩『日々の祈り』 ⑪『安心と喜びを得る道』 ⑫『神性開発』	①『生命の實相』第 21 巻 ②『神と偕に生きる真理 365 章』 ③『新版 光明法語』 ④『唯神実相の世界を説く』 ⑤『“森の中”へ行く』 ⑥『日時計主義とは何か?』 ⑦『新版 人間苦の解放宣言』 ⑧『新版 詳説 神想観』 ⑨『新版 人生を支配する先祖供養』 ⑩『新版 生活と人間の再建』 ⑪『新版 栄える生活 365 章』 ⑫『聖經 真理の吟唱』	①『生命の實相』第 1 巻、第 7 巻 ②『由来紀』 ③『神想観はすばらしい』 ④『新編 聖光録』 ⑤『新版 詳説 神想観』 ⑥『新版 人生を支配する先祖供養』 ⑦『霊供養入門』 ⑧『いのちを引きだす練成会』 ⑨『新版 人間苦の解放宣言』 ⑩『新版 光明法語』 ⑪『日々の祈り』 ⑫『新版 菩薩は何を為すべきか』
参加費用	参籠費(宿泊実費)全期3,000円 練成会奉納金一日あたり、2,000円以上随意		
	※練成会奉納金は、神想観・聖經読誦・浄心行・先祖供養・真理講話等の宗教上の儀式行事に対する献金(喜捨金・寄付金)です。		
持 物	筆記具、洗面具、着替え、神の子ハチマキ、四部経、生長の家聖歌歌詞、大自然讃歌、観世音菩薩讃歌		

練成会への
奉獻品奉納金
(2月分)
心より感謝申し上げます

大愛知練成会

豊橋練成会

三河練成会

岩瀬美佐子、加藤さちる、愛知さく子、岡田周子、高橋民子、渡邊志摩子、山本春代、田村将喜、宮島由江、安井守男、尾崎光代、三宅三美子、佐野三代子、谷川美江子、福留譲、細川咲与美、松浦順子、高井良子、加藤定子、横地武男、高田沙智子、藤倉チリ子、新富美代子、近藤なつ子、石田智子、杉浦康代、鈴木千里、牧野三紀子、深田喜久子、匿名1名

原浅巳、村田百合子、朝倉好子、豊田勉、鈴木百合子、宮原小はる、落合秀夫、河合晃、中川芳子、寺田京子、加藤さちる、加藤ひろ子、石川八重子、匿名3名

藤岡和子、副島洋子、穴戸妙子、平松洋子、服部伸子、政平京子、井上とも子、城田タツ子、肥田京子、宮本誠子、吉田幸子、寺田京子、宇井きみ子、豊田勉、花井美恵子、平林美智子、岩崎和子、木下知枝

4月度教化部行事

個人指導
掲載のとおり
※指導講師は変更される事があります。
早朝行事 午前6時20分～7時半

日	曜	行	事	時	間	早朝行事	個人指導
1	水	龍宮住吉分社月次祭		10時～11時半			
2	木	(相)金剛会誠魂祈願祭		13時～14時			
3	金	(生)正副会長会議		10時～16時			
4	土	(栄)正副会長会議		19時～21時			
5	日	(議)正副会長会議		13時～15時半			
6	月	(相)正副会長会議		19時～21時			
7	火	(議)正副会長会議		13時～15時半			
8	水	(相)正副会長会議		19時～21時			
9	木	(生)正副会長会議		10時～16時			
10	金	(栄)正副会長会議		19時～21時			
11	土	(議)正副会長会議		13時～15時半			
12	日	(相)正副会長会議		19時～21時			
13	月	(議)正副会長会議		13時～15時半			
14	火	(相)正副会長会議		19時～21時			
15	水	(生)正副会長会議		10時～16時			
16	木	(栄)正副会長会議		19時～21時			
17	金	(議)正副会長会議		13時～15時半			
18	土	(相)正副会長会議		19時～21時			
19	日	(議)正副会長会議		13時～15時半			
20	月	(相)正副会長会議		19時～21時			
21	火	(議)正副会長会議		13時～15時半			
22	水	(相)正副会長会議		19時～21時			
23	木	(生)正副会長会議		10時～16時			
24	金	(栄)正副会長会議		19時～21時			
25	土	(議)正副会長会議		13時～15時半			
26	日	(相)正副会長会議		19時～21時			
27	月	(議)正副会長会議		13時～15時半			
28	火	(相)正副会長会議		19時～21時			
29	水	(生)正副会長会議		10時～16時			
30	木	(栄)正副会長会議		19時～21時			

三河道場行事

早朝行事 (毎日)
6時

1	水	(白)中総連祝福祈願	10時～12時
3	金	(白)矢作総連祝福祈願	10時～12時
4	土	(白)六ツ美総連祝福祈願	10時～12時
7	火	(相)正副会長会議(映像受信)	19時～21時
10	金	(白)聖歌練習	10時～12時
14	火	三河練成会	10時～12時
17	金	(講)講師光実一日研修会(三河)	10時～15時半
18	土	(白)矢作総連・支部長会議	10時～12時
19	日	(白)中総連・支部長会議	9時～12時
20	月	岡崎生命学園	9時～14時半
21	火	個人指導(岡田周子講師)要予約	10時～12時
22	水	講 岡崎地区推進部会	13時～15時半
24	金	(相)金剛会勉強会(映像受信)	19時～21時
25	土	谷口輝子聖師二十七祭(映像受信)	10時～12時
29	水	(講)母親教室出講勉強会(映像受信)	13時～15時半
		(白)聖歌練習	10時～12時
		(講)講師光実一日研修会(映像受信)	10時～15時半
		休館日(昭和の日)	

豊橋道場行事

早朝行事 (毎日)
5時10分

4	土	(相)正副会長会議(映像受信)	19時～21時
5	日	早朝行事と講話	5時～7時
6	月	(相)ボンテドアモール誌友会	10時～12時
10	金	(白)聖歌練習	10時～12時
12	日	豊橋練成会	10時～12時
17	金	豊橋生命学園	9時～14時半
18	土	(白)豊橋南総連支部長会議	12時～15時
20	月	(白)吉田総連支部長会議	9時～12時
21	火	豊橋一泊見真会	10時～12時
22	水	(白)向山総連支部長会議・祝福祈願	10時～14時
24	金	(相)金剛会勉強会(豊橋・東三河)合同	13時～15時半
25	土	(相)金剛会勉強会(映像受信)	19時～21時
29	水	谷口輝子聖師二十七祭(映像受信)	10時～12時
		(講)母親教室出講勉強会(映像受信)	13時～15時半
		(講)講師光実一日研修会(映像受信)	10時～15時半
		休館日(昭和の日)	

一宮道場行事

早朝行事 (土・日・祝)
6時

2	木	(白)一宮東総連祝福祈願	10時～15時
4	土	先祖供養祭	10時～12時
12	日	道場運営委員会	9時～14時半
17	金	(講)一宮生命学園	10時～12時
18	土	(白)一宮東総連・地区連会議	13時～15時半
20	月	(白)一宮西総連・地区連会議	13時～15時半
22	水	(白)大志地区支部長会議	10時～12時
24	金	(相)金剛会勉強会(映像受信)	13時～15時半
25	土	(相)金剛会勉強会(映像受信)	19時～21時
		(講)母親教室出講勉強会(映像受信)	13時～15時半
		(講)講師光実一日研修会(映像受信)	10時～15時半

相愛会豊橋一泊見真会

日時 4月18日(土) 19時～翌8時
講 師 柴田 巖練成主任
テーマ 無限供給の鍵
テキスト 『無限供給の鍵』『無限供給の扉を開く』

栄える会行事案内

19日(日)夜 一仁道場 安江 光夫 例会
25日(土)夜 教化部別館 高柳 信正 例会
18日(土)夜 山名宅 金谷 康正 例会
夜 瀬戸蔵 宝出賀寿子 例会

尾張 〇五八六四一四六五渡邊淑子講師
名古屋 四一七〇五六城田タツ子講師
E-mail: k2668.seikyokukai@nifty.com

生命学園開催日程

知多生命学園
4月12日(日) 9時半～14時 東新町勤労福祉会館
春日井生命学園
4月12日(日) 9時半～12時 ギャラリースペース「宙」
海部生命学園
4月12日(日) 9時半～12時 山田慧子宅
豊田生命学園
4月12日(日) 9時半～12時 佐藤民子宅
安城生命学園
4月12日(日) 9時半～12時 野村語宅
瀬戸長久手生命学園
4月12日(日) 9時半～12時 長久手市交流プラザ

生命学園の見学・お問い合わせは
教化部(永田までご連絡ください)。

母親教室出講講師勉強会

日時 4月24日(金) 13時～15時
会場 愛知県教化部
講師 濱山正幸教化部長
テーマ 『上手な子育て、明るい子育て』
テキスト 『花の旅立ち』『父と母のために』
普及誌『白鳩』27年5月号
出講体験発表 田中則子講師
講話モデル発表者 ①加藤純子講師 ②山口桂子講師
『母親教室出講のための手引』
普及誌『白鳩』5月号をこ持参下さい

地方講師・光明実践委員一日研修会

日時 4月25日(土) 10時～15時半
会場 愛知県教化部
誌友会出講講師勉強会
テキスト 『神真理を告げ給う』第三章・第四章

1) 宗教行先導の実際 高橋民子講師
2) テキスト輪読進行の実際 相馬悦子講師
3) テキストを活かした講話の実際 山際靖子講師
講評及び指導 濱山正幸教化部長
教化・指導力向上のための研修
1) 平和・環境・資源の問題解決への貢献 池田ゆきえ講師
テキスト 『宗教はなぜ都会を離れるか?』
機関誌『生長の家』26年7月号
2) 質の高い組織運動伸展のために 矢野妙子講師
テキスト 『いのちを引き出す練成会』
3) 昇格試験の出題問題に学ぶ 宝出賀寿子講師
テキスト 『次世代への決断』
『宗教はなぜ都会を離れるか?』

日時 4月14日(火) 10時～15時半
会場 三河道場
誌友会出講講師勉強会
1) 宗教行先導の実際 横地武男講師
2) テキスト輪読進行の実際 田村浩江講師
3) テキストを活かした講話の実際 石田智子講師

講評及び指導 濱山正幸教化部長
教化・指導力向上のための研修
1) 平和・環境・資源の問題解決への貢献 持城美都子講師
2) 質の高い組織運動伸展のために 中根八千代講師
3) 昇格試験の出題問題に学ぶ 岡田周子講師
まとめの指導 濱山正幸教化部長
※テキストは教化部会場の研修会と同様